

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 9 月 29 日 (2005.9.29)

【公開番号】特開 2003-195787 (P2003-195787A)

【公開日】平成 15 年 7 月 9 日 (2003.7.9)

【出願番号】特願 2002-279547 (P2002-279547)

【国際特許分類第 7 版】

G 0 9 F 9/30

G 0 2 F 1/13

G 0 2 F 1/1333

G 0 2 F 1/1368

G 0 9 F 9/00

H 0 1 L 21/336

H 0 1 L 29/786

H 0 5 B 33/04

H 0 5 B 33/10

H 0 5 B 33/14

H 0 5 B 33/22

【 F I 】

G 0 9 F 9/30 3 3 8

G 0 9 F 9/30 3 6 5 Z

G 0 2 F 1/13 1 0 1

G 0 2 F 1/1333 5 0 0

G 0 2 F 1/1368

G 0 9 F 9/00 3 4 2 Z

H 0 5 B 33/04

H 0 5 B 33/10

H 0 5 B 33/14 A

H 0 5 B 33/22 Z

H 0 1 L 29/78 6 2 7 D

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 5 月 9 日 (2005.5.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基板上に窒化物層を形成し、

前記窒化物層上に接して酸化物層を形成し、

前記酸化物層上に絶縁層を形成し、

前記絶縁層上に発光素子を形成し、

前記発光素子を覆う層間絶縁膜を形成し、

前記層間絶縁膜に支持体を接着した後、物理的手段により前記酸化物層の層内または前記窒化物層と前記酸化物層との界面において前記基板を剥離し、

前記酸化物層に転写体を接着することを特徴とする発光装置の作製方法。

【請求項 2】

基板上に窒化物層を形成し、
前記窒化物層上に接して酸化物層を形成し、
前記酸化物層上に絶縁層を形成し、
前記絶縁層上に発光素子を形成し、
前記発光素子を覆う層間絶縁膜を形成し、
物理的手段により前記酸化物層の層内または前記窒化物層と前記酸化物層との界面にお
いて前記基板を剥離し、

前記酸化物層に転写体を接着した後、前記層間絶縁膜に支持体を接着することを特徴と
する発光装置の作製方法。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 において、前記窒化物層に代えて金属層または窒化金属層を形成する
ことを特徴とする発光装置の作製方法。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれかーにおいて、前記酸化物層として、酸化シリコン材料もしくは
は酸化金属材料からなる単層、またはこれらの積層を用いることを特徴とする発光装置の
作製方法。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれかーにおいて、前記支持体は、可撓性を有することを特徴とす
る発光装置の作製方法。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 4 のいずれかーにおいて、前記支持体として、封止膜が設けられたプラス
チック基板を用いることを特徴とする発光装置の作製方法。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 のいずれかーにおいて、前記転写体は、可撓性を有することを特徴とす
る発光装置の作製方法。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 6 のいずれかーにおいて、前記転写体として、封止膜が設けられたプラス
チック基板を用いることを特徴とする発光装置の作製方法。

【請求項 9】

請求項 6 または 8 において、前記封止膜として、第 1 のバリア膜と、前記第 1 のバリア
膜上に形成された応力緩和膜と、前記応力緩和膜上に形成された第 2 のバリア膜とを積層
した膜を用いることを特徴とする発光装置の作製方法。

【請求項 10】

請求項 9 において、前記第 1 のバリア膜として、窒化珪素、窒化酸化珪素、酸化アルミ
ニウム、窒化アルミニウム、窒化酸化アルミニウム、または窒化酸化珪化アルミニウム膜
を用いることを特徴とする発光装置の作製方法。

【請求項 11】

請求項 9 または 10 において、前記第 2 のバリア膜として、窒化珪素、窒化酸化珪素、
酸化アルミニウム、窒化アルミニウム、窒化酸化アルミニウム、または窒化酸化珪化アル
ミニウム膜を用いることを特徴とする発光装置の作製方法。

【請求項 12】

請求項 9 乃至 11 のいずれかーにおいて、前記応力緩和膜として、透光性を有する樹脂
を用いることを特徴とする発光装置の作製方法。

【請求項 13】

請求項 1 乃至 12 のいずれかーにおいて、前記発光素子は、薄膜トランジスタに接続さ
れた電極を陰極または陽極としていることを特徴とする発光装置の作製方法。